

佐藤 政則ゼミナール【経営-4 クラス】

【題目】スタートアップ企業の経営課題とその克服

【到達目標】日米両国の様々な企業家と企業の事例を学ぶことにより、21世紀の企業像を考えていきたい。それを通じて歴史的な知恵を現在と将来に活かすセンスとテクニックを学ぼう。

【講義内容】会社が立ち上がるときに、どんな課題があり、とくに何が最も困難だったのか。そしてどうやってそれを克服したのだろうか。会社が立ち上がる時、そのほとんどが数名のメンバーで始まる。あの巨大企業、パナソニックやSONYも最初から大企業であったわけではない。むしろ零細企業の一つだった。もし立ち上げがうまくいき、経営が軌道に乗れば、なかには大企業になるものも出てくる。何が経営課題だったのか。当然だが、お金はない、設備も極めて不十分、人財も乏しい、販売力もない、「ないないない」のはずなのだが、どうしてなんとなかったのだろうか。何が大事だったのか。多くの事例から学びたい。できれば、「なんとななる法則」を時間をかけて見つけたい。現在の巨大企業の多くも、スタートアップのときには零細企業だった。スタートアップ企業の研究は、中小企業の研究でもあるのだ。幸いに日本には「成功」した会社の場合、自社の歴史を語る『会社史』を刊行するところが多い。そういう会社資料をベースにたくさんの事例から学びたい。

ゼミは春合宿から始まる。合宿や前後期の通常のゼミでは、日本経済や企業・企業家に関する文献・資料をとりあげ、各担当者が分担個所の報告を行い、それ以外の参加者は質問を考えてくる。出された質問に報告者は応えながら全員で議論する。質問が大事。報告者もどんな質問がでるのか、想定しておく。合宿は、基本的に年2回(夏と春)行う。また必要があれば、基本的論文を教材にしたサブ・ゼミを予定している。ゼミ、合宿、コンパなどの日常的なゼミ活動は、ゼミ長、サブ・ゼミ長、会計(これを称してゼミ三役と言う)を中心に、ゼミ生全員の自主的な運営に委ねている。

【授業計画】

第1回 基礎的テキスト①

第2回 基礎的テキスト②

第3回 基礎的テキスト③

第4回 基礎的テキスト④

第5回 基礎的テキスト⑤

第6回 基礎的テキスト⑥

第7回 基礎的テキスト⑦

第8回 基礎的テキスト⑧

第9回 基礎的テキスト⑨

第10回 基礎的テキスト⑩

第11回 基礎的テキスト⑪

第12回 基礎的テキスト⑫

第13回 基礎的テキスト⑬

第14回 基礎的テキスト⑭

第15回 基礎的テキスト⑮および夏合宿の準備

【教科書】そのつど相談する。

【参考文献】ロバート・C・アレン『なぜ豊かな国と貧しい国が生まれたのか』NTT出版

粕谷誠『ものづくり日本経営史』名古屋大学出版会

三和良『概説 日本経済史 近現代』第3版、東京大学出版会

橋本寿郎『戦後の日本経済』、岩波新書

日本経済新聞社編『20世紀 日本の経済人』I、II、日経ビジネス人文庫

【評価方法】ゼミ報告を基礎にゼミ活動全般を対象にして評価を行う。

【履修の条件】特に定めないが、歴史に関心のある学生や下記関連科目を履修した学生ないし履修する学生が望ましい。

【聴講生・科目等履修生受入】否

【他学科生・他専攻生受入】可

【他学部生受入】否

【当該科目に関連する開設科目】経営史 AB、日本経済史 AB、経済史、革新企業家論 AB

【使用言語】日本語

【担当者からの一言】私とは長い付き合いになります。佐藤ゼミの様々な活動を通じて成長して下さい。

【身に付くように意識している汎用的能力】

知的的好奇心	○	他者の立場と痛みを感じる力	◎
本質を理解する力	○	意志や情報を発信する力	◎
論理的に考える力	○	自ら行動する力	◎
多様性を理解する力	◎	自己を受け止める力	○
チームワークよく成し遂げる力	◎	自己反省する力	○
様々な人と対話する力	◎	自信を生み出す力	◎